

くっくっく  
**FUCK**  
ぶっらほっ!!

成人向  
Adult Only



助けて

メグ？

助けて  
レスト君

なんだか今日は  
ずっと浮かない顔して  
るけど……

もしかしてデート  
つまらなかつたかな……？

え……

早く私を――



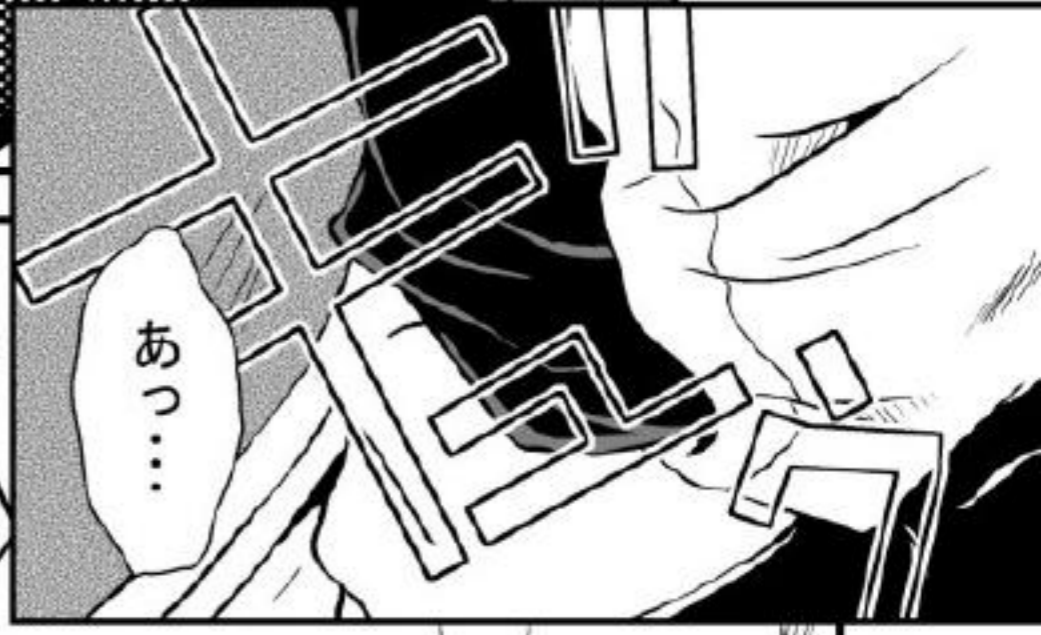


め……メグ!!

レスト君と一緒にいる時が  
私の一番幸せな時間なの!!  
つまらないなんて事、絶対ない!!

そんな事ないよっ!!

そ……



あっ……

やあメグちゃん  
今日もいい天気だね♡

あ……  
あのねレスト君っ  
私……私、実は……



ああ、デート中済まないね  
昨日の彼女の演奏があまりに  
素晴らしかったのでね  
是非、今夜もお願いしたくて  
つい声を掛けてしまったんだよ

へーそうなんだ  
昼間は聞いた事が  
あったけど、夜も  
演奏やってたんだね

あ、なら僕も今夜聞き  
行っても——

あ……  
ああ……

05

ごめんレスト君っ  
また今度ね！

え……う、うん  
それじゃまた……

ちよつと！外では話し  
かけないでって  
約束したじゃないですか！！

ピンピン

ハハハハ  
ごめんよメグちゃん  
待ちきれなくてついね

ピンピン





ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

中々良さそうな人  
じゃないか  
メグちゃんが選んだ  
男だけはあるよ

ただ、少し鈍感な所が  
玉に瑕という所かな？

ちゅぽ



いや、さつきは済まなかった  
彼がメグちゃんの彼氏なんだね



何しろ楽しくデートを  
していた自分の彼女が  
その後すぐに

冴えない中年男に  
弄ばれてるなんて  
考えもしないだろう  
からね ♡

へっ  
へっ





事の起こりは  
十日前……



その日、私はいつものように  
食堂で酔い潰れたお客を  
旅館まで連れて行った

そして部屋まで運んだ所で  
私はこの男に——犯された

ディラスが連れて行くと  
行ってくれたが、もしかしたら  
畑作業帰りのレスト君と旅館で  
会えるかもしてないと思い  
断ってしまった

並みの相手なら余裕で  
あしらえると思っていたのに  
何故かその時、抵抗する事が  
出来なかった

襲われる前、無理矢理  
何か飲まされた様な気が  
するが……よく覚えていない



その後はもう  
どこにでもある話…

犯された事を秘密にする  
代わりに何時でも…何処でも  
男の求めを断ってはならない

のし

さ、今日は上に乗って  
メグちゃんの好きなように  
動いてみなさい♥

初めの頃は大き過ぎて  
中々入らず痛いだけだったが  
今ではもう大した抵抗もなく  
受け入れてしまっている…

このまま私のアソコが  
男の形になってしまわないか…  
そんな恐怖が常に私を襲う



もう何度も使っているのに一向に緩む気配がないこの締めまり!!

はっ

はっ

はっ

はっ

びゅん

メグちゃんのマンコはまさしく名器じゃのう♥

いやあああああ! 変な事言わないでえ!!

この名器を使った事が無いなんて彼氏も可哀そうにw

まあ今更挿れても僕のデカマラで拡がった後じゃ他のちんぽじゃ満足出来んだろうがな!

のう、メグちゃんあんな冴えない優男は辞めて僕の愛人にならないか?

かか

はっ

はっ

たれが

身体の相性もバッチリだし丁度良いと思うんじゃないよ



ほれ、その証拠に♥









そして…それまで夜にだけ行われていた男との行為が日を重なるにつれて徐々にその要求が大胆になっていった

いっしょにやいませっ♡

こんにちははメグちゃん  
今日も元気だね♡

いっしょにやいませっ…

それは仕事中でも…





男の性欲は留まる事を知らず  
私はただひたすら精液を黙って  
身体に受け入れ続けるのでした



街中でも…



い…く、いく…うっ…  
い…く…うっ…!!

うん、わかった  
楽しみにしてるよ



そっか、ご免ね  
忙しいのに

ごっ…ゴメンね  
レストく…んっ  
私…ひっ!!

こ、これからポコさんに  
頼まれて新しい歌をお  
作らなきゃいけないか…らっ

ま…た誘って…ね、次は絶対  
行…く…う、いくか…らあ

う…ん…っ

おん

おん

おん



メグ、今セルセレッスン丘陵で  
桜が満開なんだ  
良かったら一緒にいかない？

それと共に…私の中で  
何かが変わってきている  
のを感じました



そんなある日—  
毎日来ていた男からの  
呼び出しが：唐突に  
なくなつた

本当ならそれは  
喜ぶべき事なはずだ

次第にそれは私の日常にまで  
影響を及ぼすようになって行き

それがおかしいと  
頭では理解しているのに  
止める事が出来なかつた

そんな日を何日も過し…  
遂に我慢出来なくなつた私の  
足は男のいる旅館へと向いていた

するとそんな私の思いとは  
裏腹に雲一つ無い青空から  
突然、雨が降ってきた

しかし、すでに私の身体は  
一日とてあの男無しでは  
耐えられない雌へと変えられ  
てしまつていた……

まるで本当はあの男を  
求めているのだと身体が  
訴えているかのように……





いっやあああ  
あああああ!!

ん…、雨…？  
でも雲なんて…

あ、メグちゃんだあ  
お、い、久しぶり

…っ!?!  
なんで…なんで…  
なんで…なんで…  
なんで…なんで…  
なんで…なんで…  
なんで…なんで…  
なんで…なんで…  
なんで…なんで…





そんな「こんなの嘘だよ！  
なんでゴハクちゃんまで？！  
私が私かも」と気を付けて  
いれば……

おお、メグ  
らっしやい！



おははははははは  
おははははははは  
おははははははは

コハク  
ちゃんっ！！

わら、メグちゃんも一緒に  
来たの？お、聞いて聞いて  
ちんちんっこことっこも  
気持ちいいんだよ♡

メグちゃんも一緒に  
ちんちん遊びしよ！♡

おははははははは  
おははははははは  
おははははははは





ねーねー！  
知ってる？

ココにねー、おまんこって  
言うんだけど、ちんちんから出る  
お汁を入れると赤ちゃんが  
出来るんだってー♪

うそだよ…  
こんな…こんな…

それにちんちん出し  
入れるとすっこく  
気持ちいいんだよー！  
不思議だねえ♪  
♡



気持ちよくなって  
家族も増える！



ちんちん  
遊び



ちんちん♡



これはこれは  
あなたの方から  
来て頂けるとは！

かたかた

や...

こんなうそだよ...

えっ!?  
何...

あなたの事を疎かにして  
しまい申し訳ない!  
新しい玩具が手に入ったので  
色々遊んでいたんですよ

18

あの子の事ですが勘違い  
しないで下さいね?

彼女の方から  
誘って来たんですよ

うそ...入れられ  
ただでイッた  
...?

街中で元気な声で  
「あたしのお花買って  
欲しいのよ」ってねw

最初は痛がっていた彼女ですが  
一回陰内射精してあげたら  
すっかりセックスに夢中に  
なっていましたよ

ですが...この事をあの  
保護者気取りの迷探偵や  
愛しの王子様が知ったら  
大層悲しまれるでしょうね

あ、勿論、話したり  
なんかしませんよ?  
あなたの物分かりが  
良ければ...ね

ははは  
ははは  
ふふふ

あははは  
ははは  
ははは



もう男の言葉に従うしか…  
いや：本当は心のどこかで  
逃げ道を無くして逃げられ  
ない様に欲しいと思っ  
いたのかもしれない…

そうすれば、もう  
レスト君を言い訳に  
しないでいいから…

はい…  
分かりました…

そう…ただ挿入されただけで  
達してしまった自分の身体が  
それが真実であるという事を  
悠然と物語っているのだから



それから先はただ…  
自慰を覚えたての猿のように  
ひたすら快楽を求めました

何度射精させても  
次々と新しいちんこが  
やってきます



精液塗れになっても  
お腹が精液で破裂しそうに  
なっても私達は夢中で  
それらを受け入れ続けました

そんな私達の騒ぎを嗅ぎつけた  
他の泊まり客も入り乱れて  
まるでお祭りのように皆  
一心不乱に私達に精液を  
吐き出しに来たのです



ああ、凄いいいっ♡  
ちんぽが一本増えただけで  
こんなに気持ちいいなんて  
知らなかったのお♡

もっと…もっと  
いっぱい突いてえ♡

言われなくても  
孕むまで犯し抜いて  
やるぜ!!

食堂のアイドル  
マーガレットちゃんか  
こんなにHな子だった  
なんてガツカリだよ!

ふふ…こんなに早く  
二穴を覚えるとは  
メグちゃんは本当に  
犯しがいがあるわい♡

これは是が非でも  
儂のモノにしたく  
なったのう♡

メグ!この先ずつと  
儂のチンコ奴隷に  
なると誓え!!

早く誓わんと  
抜いてしまうぞ!!



もうおじ様のチンコ  
無じゃ生きて  
いけませんっ！

だから止めない  
で下さい！

よく言ったー！  
そろ、イってっ！

一生おじ様の  
チンコ奴隷になりますー！

な、な、な、

おじ様

おじ様

おじ様

おホッ



それじゃあメグ  
行ってきます♥

結局、あれから  
私はレストちゃんと  
結婚しました

うん

行ってらっしゃい  
あなた♥

…やっと  
行ったか

だって私がレスト君を  
大好きだって気持ち  
変わるなんて事…  
あるわけないよ!

ええ

お待たせ  
しました♥

でも今は…レスト君以上に  
セックスが大好きです♥

さあ  
おじさま♥

今日も腹ボテ変態エルフを  
いっぱい可愛がって下さい  
ね♪



